

障害をかかえる女性への支援 -嵐の後を生きる「彼女たち」へのソーシャルワーク-

令和2年2月13日(木)～14日(金)

非行・犯罪行為に至った知的障害者に対して、福祉分野でどのように支援・対応するのかについては多くの支援者が日々奮闘し、試行錯誤を重ねています。一方、支援の目的や方法、問題への対応などについて議論する場がまだまだ限られているため、支援者自身も悩みを抱えがちです。

そこで、この領域での実践に関連する課題について参加者の方とともに考え、学ぶ機会、交流の場となることを目指し、今年度も双方向参加型の研修を企画いたしました。今回は、基調講演と鼎談を通じて障害のある女性に対する支援について考え、分科会においても女性やジェンダーという視点を取り入れながら事例検討をしていきます。日ごろより支援に携わっている皆さんの参加をお待ちしています。

2月13日(木) 会場: 2階 2-3

2月14日(金) 会場:裏面参照

時間	プログラム
12:30	受付開始
13:20	開会 主催者挨拶
13:30	基調講演 大嶋栄子 (特定非営利活動法人リカバリー代表)
14:30	休憩
14:45	鼎談 大嶋栄子 (特定非営利活動法人リカバリー代表) 森久智江 (立命館大学法学部教授) 水藤昌彦 (国立のぞみの園参事 /山口県立大学社会福祉学部教授)
16:45	1日目終了

時間	プログラム
9:30～16:00	分科会
	第1分科会「非行・犯罪行為からの離脱を支援する」
	第2分科会「保護観察と福祉のつながりのかたち」
	第3分科会「性的問題行動への支援を考える」
	第4分科会「地域で支えるということ」
	第5分科会「ポジティブな関係づくり」
	※昼食休憩は分科会ごとにおとりください。

会場 新大阪丸ビル別館
(大阪市東淀川区東中島1丁目18-22)

定員 140名

参加費 1,000円 (資料代として)

お申込み・お問い合わせ先はこちら

独立行政法人
国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
研修養成課 木村・長井

〒370-0865

群馬県高崎市寺尾町2120-2

TEL: 027-320-1357 FAX: 027-320-1368

MAIL: nozomi-seminar-01@nozomi.go.jp

第1分科会

非行・犯罪行為からの離脱を支援する

定員40名

《2階 2-3》

水藤昌彦(国立のぞみの園/山口県立大学) 脇中洋(大谷大学)
山田真紀子(大阪府地域生活定着支援センター) 佐々木茜(国立のぞみの園)

福祉による支援では、非行・犯罪行為からの「離脱」概念が鍵になります▼離脱を支援するためには、「生活の質向上」「リスクへの対応」の双方を意識することが求められます▼本分科会では、事例検討の方法を用いて、生活の質とリスクを意識した離脱過程の支援のありかたについて、参加者の皆さまとともに考えます。

第2分科会

保護観察と福祉のつながりのかたち

定員20名

《3階 3-1》

大村美保(筑波大学) 福西毅・吉田茉允子・西原実(大阪保護観察所)
藤井要(東京保護観察所) 里見有功(千葉保護観察所)

犯罪・非行行為のある障害者への支援における保護観察と福祉の連携をテーマに、少年事例と成人事例を各1ケース取り上げて、ジグソー法によるグループワーク形式により双方の視座と着眼点を共有しつつ参加者相互での議論や情報交換を行います。

第3分科会

性的問題行動への支援を考える

定員40名

《5階 5-1》

山崎康一郎(日本福祉大学) 我藤諭(龍谷大学矯正・保護総合センター)
越野緑(しが夢翔会) 唐木慶二・児玉彩(国立のぞみの園)

知的障害があり性加害行為があった方への福祉の支援には多くの困難があり、試行錯誤しながら手探りで行われているような状況だといえます。本分科会では、性加害行為をした知的障害者へ障害福祉サービスにおいてどのように支援を行ったらよいのか、当事者のニーズの見立てや性加害行為をしない地域生活を支える方法について事例を通して参加者の皆様とともに考えていきます。

第4分科会

地域で支えるということ

定員20名

《3階 3-2》

原田和明(大阪手をつなぐ育成会)
木下大生(武蔵野大学) 皿山明美(国立のぞみの園)

地域の中で触法行為のある人を支援していると、様々な課題に遭遇しませんか？それでも、私たちは目の前にいる人を自立に導かないといけませんね。そこで、意思決定支援を念頭に置き、地域における支援実践のいくつかの事例を検討することによって、触法行為のある人の地域における支援の共通した課題を見出し、そして、参加者全員で議論することで、その課題の解決の糸口を探り支援に活かしていきましょう。

第5分科会

ポジティブな関係づくり～よろずトラブル快結♪

定員20名

《5階 5-7》

益子千枝(兵庫県地域生活定着支援センター)
関口清美・古屋和彦(国立のぞみの園)

支援をおこなう現場での様々な対人トラブル・・・解決どころか対決してしまい疲労していませんか？この分科会では、支援者のためのアサーティブコミュニケーションと、ご本人や支援者と協力しあうポジティブな関係づくりのコツとツールなどを、ワークショップ型でご紹介しわかちあいます。矯正施設退所後の支援を続けるなかで起こるよろずトラブルを「快結^{かいけつ}(お互いこちよく結び合う)」しましょう。

※プログラム・講師等につきましては変更の可能性があります。

お申込み先

FAX 027-320-1368

別紙「参加申込書」に必要事項をご記入いただき、令和2年1月17日(金)までに、FAXにてお申し込みください。
※定員になり次第、受付を終了させていただきます。